

令和5年度 家庭基礎 シラバス

科目	家庭基礎	単位数	2 単位
対象	部・年次	1, 2, 3部	2年次
目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通し様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	・プリント学習 ・定期考査 ・実習におけるの作品評価 ・実習作品の試食	・発問評価 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・プリント学習 ・ノート提出 ・定期考査

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	1章 これからの生き方と家族 2章 次世代をはぐくむ 3章 充実した生涯へ 4章 とともに生きる	・毎回の授業で学習ノートを実施 ・単元ごとに自己評価 ・小テストで定着度をはかる	・高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる (第一学習社) ・家庭基礎学習ノート (第一学習社) ・自作プリント
後期	5章 食生活をつくる 調理実習 6章 衣生活をつくる 被服実習 7章 住生活をつくる 8章 経済生活をつくる		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中から課題を見出し、主体的に問題の解決をはかろうとする態度を身に付けること。 ・自立した生活を営むために様々な生活課題に対応して適切に意思決定し責任を持って行動すること。 ・学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けること。
--